

Q 中小企業の製吉開発について、資金面や技術人材の支援を受けたいとは思いますか？

A 中小企業の場合、製品す。

開発に当たってよく問題となるのは開発資金と技術人材の不足という経営資源の制約です。しかし国や地方自治体の支援制度を活用することによってこれらの制約を乗り越えられることがあります。(一)では中小企業が使える主な国の支援制度を簡単に紹介しま



も採択されています。

次に、経産省では戦略的基盤技術高度化支援事業（通称・サポイン）を行っていま

内容や公募要領が公開されているので詳しくはこちらを「

みならず県や市などの支援制度も含めて詳しい説明を受けることができます。また大学

科学技術振興機構（JST）

では産学共同実用化開発事業（NextEP）を行っていま

に該当する技術について、市

企業は、前述のような支援制度や相談窓口を上手に活用してみてはいかがでしょうか。

ます。複数のタイプがあり、

例えば未来創造ベンチャー

の研究開発に対して補助する

が厳しい中で中小企業がこれ

例えは未来創造ベンチャー

タイプは大学等の研究機関の特

補助金額は初年度の場合に最

らの制度を正確に理解して補

製品開発で支援受けたい

許などの研究成果を実用化するための開発を支援するもの

助金を申請するのは大変なこと

ことがあるので「留意下さい

で、支援金額は総額で1〜50

また、定められた開発テーマ

に相談窓口へ行って相談する

（中小企業診断士 反町政幸）

億円、開発期間は最長10年ま

募し、開発全体をマネジメン

トしてくれる新エネルギー

◇ 連絡先・一般社団法人埼玉

合にはあとで補助金を返済す

産業技術総合開発機構（NE

携支援センター埼玉」という

県中小企業診断協会（204

必要があります。平成20年

DO）の事業もあります。い

窓口が北与野駅前にあります。

8・762・3350）